

授業科目	英語の発音とリズムⅡ（A クラス）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	太田 かおり						
授業概要	この授業では、前期の「英語の発音とリズムⅠ」で学んだ英語の母音・子音（分節音レベル）、リズムやイントネーション（超分節音レベル）に関わる英語音声の法則を応用し、より伝わりやすい英語の発音方法について理解を深めることを目指す。より実践的な英語音声学の活用を目指し、英文の音読や洋楽、英会話表現などを通じて英語の音変化を含む英語特有のリズムや音声的特徴を体得する。英語音声に関わる知識や技能を身につけることで、自然で流暢な英語の発音や聞き取りにさらに自信がもてるようになることをを目指す。						
授業形態	対面授業	授業 方法		ペアワーク			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	①英語の子音の調音点や調音方法について理解し、概ね説明できる。(DP1-2) ②英語の母音や子音を概ね正しく発音できる。(DP1-2) ③国際音声表記（IPA）を使って書かれた表記を概ね読むことができる。(DP1-2) ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、概ね活用できる。(DP1-2) ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で概ね活用できる。(DP1-2)
理想的レベル	①英語の子音の調音点や調音方法について理解し、他者にわかりやすく説明できる。(DP1-2) ②英語の母音や子音を自らが正確に発音できる。(DP1-2) ③国際音声表記（IPA）を使って表記したり、IPAで書かれた表記を迷いなく読むことができる。(DP1-2) ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、他者にわかりやすく説明できる。(DP1-2) ⑤英語の発音やリズムの特徴を十分に理解し、日常英語で自然に活用することができる。(DP1-2)

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	50%	英語音声学に関するレポート課題
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	20%	毎回の授業後の振り返りシートの提出
その他	30%	演習課題や発音練習への取り組み

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	EN11202J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

授業内で学習したことの実践的復習 自己目標達成に向けての日々の練習計画に沿った実践的学習 YouTube, TED Talk, 海外のニュース番組、洋楽などのシャドーイング	1回の目安時間（時間） 4
--	------------------

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス（授業の進め方、評価方法、家庭学習の方法等について説明を行う） 英語の母音・子音・リズムの復習 発音の録音課題(1)、今学期の発音向上に関する目標設定
第 2 回	Lesson 1 音節と語強勢 演習問題および発音訓練
第 3 回	Lesson 2 文強勢 演習問題および発音訓練
第 4 回	Lesson 3 ポーズ 演習問題および発音訓練
第 5 回	Lesson 5 音のつながり I 連結 演習問題および発音訓練
第 6 回	Lesson 6 音のつながり II 脱落(1)『閉鎖音+子音』 演習問題および発音訓練
第 7 回	Lesson 7 音のつながり III 脱落(2)『同じ子音が重なった場合』 演習問題および発音訓練
第 8 回	Lesson 8 音のつながり IV 同化(1) [t, d, s, z]+[j] 演習問題および発音訓練
第 9 回	Lesson 9 イントネーション—例挙と選択問題文 演習問題および発音訓練
第 10 回	Lesson 10 機能語の弱形と強形 演習問題および発音訓練
第 11 回	Lesson 11 音のつながり V 同化(2) 『調音点の同化』 演習問題および発音訓練
第 12 回	Lesson 12 音のつながり VI 同化(無声化) 演習問題および発音訓練
第 13 回	Lesson 15 話者の意図と強勢 演習問題および発音訓練
第 14 回	総括(1) 母音・子音の総括 発音の録音課題(2)
第 15 回	総括(2) 強勢・リズム・話者の意図の総括 今学期の発音向上に関する目標設定への自己評価
テキスト	今井由美子／井上球美子 他共著 (2020 年) 『【改訂版】 Sounds Make Perfect 英語音声学への扉—発音とリスニングを中心に— DVD 付』 (ISBN: 978-4-269-63014-7) 本体 2,400 円 + 税 ※前期使用教材を継続使用するため、購入の必要はない。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業終了時に提出する振り返りフォームは、次時の授業にてフィードバックを行い、質問等への回答・解説を行う。

	演習課題や発音練習への取り組みに関しては、教科書の演習課題や発音練習への取り組み態度等を見て個々に評価する。
学生へのメッセージ・コメント	英語耳をつくるためには、いろいろな英語の音声に慣れる必要があります。そのためには、テレビ・ラジオ・インターネット・映画などを有効に活用して下さい。日常的に英語を聞き、使ってみる努力をしましょう。

